

塩竈市小学校英語教育研究

32年度小学校学習指導要領完全実施に向かう取組



29. 8. 9 塩竈市小学校英語教育研究会担当校長会
月見が丘小 高砂 杉の入小 櫻田 二中 佐々木

1 日本の小学校への外国語教育導入の経緯

昭61 臨教審「英語教育の内容と開始時期を検討」・・・31年前
平4 研究開発学校指定・・・現場が中心となって模索
平14 総合的な学習の時間に英語活動・・・学校一任 = バラバラ

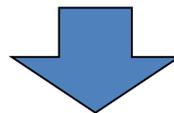


全国共通の指導内容設定が必要

平23 **必修化**・・・**外国語活動** 小5・6年生 週1時間 年35時間
共通の教材「英語ノート」「Hi, friends!」 教師用「研修ガイドブック」
教員研修実施

聞く・話す

平25 小学校英語学習の抜本的な拡充



平32 **小3・4年生 外国語活動** **聞く・話す** **35時間**
小5・6年生 外国語科 **聞く・話す・読む・書く** **70時間**

3 内容

小学校 単語600～700語

3～6年

Hello. What sport do you like? I enjoyed fishing.

He was my best hero. I want to join the tennis club.

外国語活動 数値による評価はしない

外国語科 数値による評価

中学校 単語 1600～1800語

授業は英語で行うことを基本とする

現在の高校の内容が一部入る

4-1 新学習指導要領の円滑な実施に向けた移行措置

今の小3が32年度に小6・・・急に70時間は厳しい

平30～31年度の

小3・4年生

外国語活動15時間設定

小5・6年生

外国語活動35時間

+

外国語科15時間＝50時間設定

平30～32年度の

中学生

時数増なし

追加された内容を指導する

4-2 移行措置期間に求められる対応

- ①小学校教員，中学校英語科担当教員が
小学校外国語の**目標，内容を理解**すること
- ②外国語活動，小外国語科の**年間計画作成**
- ③指導時数増に伴う**30・31年度の時間割作成**
- ④「**総合的な学習の時間**」の**年間計画練り直し**
- ⑤**32年度からの時間割作成**
3・4年生15時間増 5・6年生35時間増をどこに？
- ⑥小学校教員の**指導力向上のための研修**
- ⑦**ALT配置計画練り直し**

5 塩竈市小学校英語教育研究会

①研究会の目的

- ・平成32年度から小学校の新学習指導要領が全面実施することを受けて、外国語科及び外国語活動の円滑な実施を図るための協議・準備を行う。
- ・平成29年度からスタートする移行期間に向けての準備計画を作成するとともに、必要な研修会等を企画・実施する。

②組織

市教委担当 担当校長3名(月小 杉小 二中)
市内各小学校の代表教諭7名

③意義

市内小学校英語教育に充実に向けて、
共通歩調をとるために
小中が連携して、小中教員それぞれの
特色や専門性を活かすために

④実践

1) 小学校外国語活動への乗り入れ授業



- ・A中学校からA1小学校へ 1学期19コマ
- ・授業記録の累積

2) 授業参観

6月27日～7月14日

- 市内各小学校の実態把握のため
- 担当校長が手分けして授業参観実施

○楽しそうに授業している

○校内協働体制ができている小学校あり

○力のある中学校教員とTTを重ねることにより
小学校教員の指導力が高まった例あり

3) 課題

- ◇外国語活動のねらいや趣旨が浸透しないままに経過した感がある
- ◇学校間の指導体制に差あり 授業者の力量に差あり
- ◇小学校間の指導内容に違いがあると中学校に入ったときの素地に差が出る
- ◇中学校教員の理解不足
- ◇単元指導計画作成段階から連携するとよい

4) 研修計画

①7月31日 仙台管内小学校教育課程説明会

各小学校3分の1の教員が参加 目標等理解

②夏休み中 各小学校で伝講会

全教員に理解を促す

③10月 中学校区単位で研修会

小学校教員全員 中学校英語科担当教員

良い授業を見る

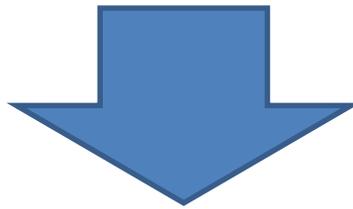
県指導主事から新教材について研修を受ける

④1月 ALT研修会

5) カリキュラム作成と時間割検討

目指したい

- 1 市内小学校が共通歩調で
小学校英語教育を充実させる
- 2 小中連携によりそれぞれの特色と専門性を活かす



塩竈の子ども達に力を付ける！